

## 病因病態医学講座／医動物学分野

## 1. 領域構成教職員・在職期間

助教	矢野 泰弘	平成1年4月ー(平成19年4月より現職)
----	-------	----------------------

## 2. 研究概要

## 研究概要

日本におけるダニ類が媒介する感染症として、古くはツツガムシ幼虫によるツツガムシ病が広く知られ、1870年代から研究が開始され、多くの世界的研究成果を挙げてきた。ところが、1980年後半から現在までに、マダニ媒介性のいわゆる新興感染症が次々に報告され、マダニと病原体との多様な関係が明らかにされつつある。

本領域ではこれらダニ媒介性感染症の野外における病原体保有動物や媒介動物についての調査・研究を行い、それらの感染環を明らかにすることを目的としている。具体的には疾病発生地において、植生上のダニを採集し、その季節的消長を確認し、独自に開発した方法によって病原体をダニ体内から検出する。同時に病原体保有動物である野鼠類や小型哺乳類を捕獲し、ダニ類の寄生状況や、各種病原体に対する血清抗体価を調べる。これらの結果を総合して当地における病原体の浸透度を推察し、住民に対するダニ媒介性感染症に関する啓発活動をする上での根拠を提示している。

## キーワード

ツツガムシ、マダニ、ツツガムシ病、紅斑熱リケッチア症、ライム病、重症熱性血小板減少症候群、感染環、季節的消長、病原体媒介能力、病原体検出

## 特色等

近年の病原体の検出法の発達と普及によって、今後、潜在するマダニ媒介性感染症が国内で確認され続けることが予想される。そういった場合に、我々が現在行っている研究手法、すなわちフィールド調査と研究室での分析、また皮膚科的検索を一体化してダニ媒介感染症を解明するという方法論は1つのスタンダードになり得るものと考えられる。

## 本学の理念との関係

我々の研究成果は以下の第3期(平成28年度～33年度)中期目標に該当する。

3. 社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標

- ① 地域の知の拠点として地域社会との連携を強化し、地域社会を志向した教育・研究を推進し、地域の人材養成と課題解決に寄与する。

## 3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター(うち原著のみ)	
	2019年分		2019年分	
和文原著論文	1		—	
英文論文	ファストオーサー	0	0 (0)	
	コレホステイングオーサー	0	0 (0)	
	その他	0	0 (0)	
	合計	0	0 (0)	

## (A) 著書・論文等

## (1) 英文：著書等

## a. 著書

## b. 著書(分担執筆)

1924001

M. Andoh, M. Gokuden, T. Honda, H. Fujita, S. Yamamoto, T. Kadosaka, A. Takano, Y. Yano, N. Takada, H. Kawabata, S. Ando: Surveillance of Tsutsugamushi Disease and Acari-borne Diseases in the Tokara Islands: The Tokara Islands, Hokuto Shobo Publishing, 136-141, 20200310

## c. 編集・編集・監修

## (2) 英文：論文等

## a. 原著論文(審査有)

## b. 原著論文(審査無)

## c. 原著論文(総説)

## d. その他研究等実績(報告書を含む)

## e. 国際会議論文

## (3) 和文：著書等

## a. 著書

## b. 著書(分担執筆)

1924002

矢野 泰弘: 各種病原体のマダニ体内存在様式から感染時期を推察する: 高田 伸弘: 医ダニ学図鑑, 北隆館, 236-237, 20190920

## c. 編集・編集・監修

## (4) 和文：論文等

## a. 原著論文(審査有)

1924003

岡部 貴美子, 巨 悠哉, 矢野 泰弘, 前田 健, 五箇 公一: マダニが媒介する動物由来新興感染症対策のための野生動物管理, 保全生態学研究, (24), 109-124, 2019

## b. 原著論文(審査無)

## c. 総説

## d. その他研究等実績(報告書を含む)

## e. 国際会議論文

業績一覧

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

1924004

矢野 泰弘, 石畝 史, 高田 伸弘: 福井県若狭地域の日本紅斑熱および重症熱性血小板減少症候群発生地区にみたマダニ分布相と病原性, 第28回日本ダニ学会大会, 富山市, 201909

1924005

矢野 泰弘: 福井県若狭地域における重症熱性血小板減少症候群発生地区にみたマダニ分布相と病原性, 第27回ダニと疾患のインターフェースに関するセミナー SADI 天草大会 2019, 上天草市, 201905

1924006

高田 伸弘, 及川 陽三郎, 夏秋 優, 石畝 史, 矢野 泰弘, 岩崎 博道, 宇田 晶彦: 日本海側にみた重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 症例から疫学調査の在り方を考える, 第71回日本衛生動物学会大会, 山口市, 201904

1924007

矢野 泰弘, 石畝 史, 高田 伸弘: 福井県若狭地域における重症熱性血小板減少症候群発生地区にみたマダニ分布相と病原性, 第71回日本衛生動物学会大会, 山口市, 201904

- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

1924008

矢野 泰弘, 石畝 史, 高田 伸弘: 福井県若狭地域の日本紅斑熱および重症熱性血小板減少症候群発生地区にみたマダニ分布相と病原性, 第74回日本衛生動物学会西日本支部大会, 富山市, 201910

1924009

矢野 泰弘: 福井県若狭地域の日本紅斑熱および重症熱性血小板減少症候群発生地区にみたマダニ分布相と病原性, 第75回日本寄生虫学会西日本支部大会, 金沢市, 201909

- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(4) その他の研究会・集会

- a. 招待・特別講演等
- b. シンポジスト・パネリスト等
- c. 一般講演（口演）
- d. 一般講演（ポスター）
- e. 一般講演
- f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）

(B) 奨学金附金

受入件数	受入金額

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本ダニ学会	会長（その他）	矢野 泰弘
日本衛生動物学会	監事	矢野 泰弘

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名

(E) その他